

# **AMCoR**

Asahikawa Medical College Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

看護研究集録 () 平成20年度:5.

スピリチュアルカンファレンス・サマリーシート(SP・CSS)を用いたスピリチュアルケア援助プロセス

田中, 理佳 ; 加藤, まどか ; 小澤, 和永 ; 笹田, 豊枝 ; 佐藤, 雅子 ; 阿部泰之

# スピリチュアルカンファレンス・サマリーシート (SP-CSS) を用いた スピリチュアルケア援助プロセス ～散歩がきっかけとなった一事例～

○田中 理佳<sup>1</sup>、加藤まどか<sup>2</sup>、小澤 和永<sup>3</sup>、笹田 豊枝<sup>4</sup>、佐藤 雅子<sup>5</sup>、阿部 泰之<sup>6</sup>  
(<sup>1456</sup> 旭川医科大学病院 緩和ケアチーム<sup>2</sup> 同8階東ナースステーション看護師<sup>3</sup> 8階東ナースステーション師長)

## 【はじめに】

終末期癌患者の多くはスピリチュアルペインを体験する。そのためスピリチュアルペインに焦点をあて、適切なアセスメントにより援助を導くことが必要となる。入院当初から時間存在のスピリチュアルペインがあり、死を待つ表現が聞かれていた患者に突然退院をしたいという気持ちの変容がみられた。要因を探ったところ散歩をきっかけとし、時間存在のスピリチュアルペインが消失したことが明らかとなった。これらのSP-CSSを用いたスピリチュアルケア援助プロセスを紹介する。

## 【目的】

時間存在のスピリチュアルペインが散歩をきっかけとし消失した援助プロセスを振り返る。

## 【方法】

カルテからスピリチュアルな表現を抽出し、時間・関

係・自律性にカテゴリー化し SP-CSS を作成する。

## 【結果】

散歩を通し自然の中から生きる活力を得て表情や言動に変化が現れた。「こんなふうに秋を感じられるなんて思ってもいなかった。幸せな気持ちです。」と生に向き合う姿勢がみられるようになった。その後落ち葉や草花で押し花を作り、これらの素材を使った作品を看護師と共に作成した。創作や観賞する喜びを感じ退院という選択を自己決定するに至った。

## 【考察】

SP-CSSの結果から、スピリチュアルペインが消失した要因は散歩という看護行為であることが明らかとなった。また作品の創作、観賞など生きることに喜びや価値を見出せた一連のプロセスは、スピリチュアルケアとして有用であったことが示唆された。